

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】平成21年12月24日(2009.12.24)

【公開番号】特開2007-328060(P2007-328060A)

【公開日】平成19年12月20日(2007.12.20)

【年通号数】公開・登録公報2007-049

【出願番号】特願2006-157873(P2006-157873)

【国際特許分類】

G 03 F 7/039 (2006.01)

H 01 L 21/027 (2006.01)

C 08 F 212/14 (2006.01)

C 08 F 220/38 (2006.01)

C 08 F 220/58 (2006.01)

【F I】

G 03 F 7/039 501

H 01 L 21/30 502 R

C 08 F 212/14

C 08 F 220/38

C 08 F 220/58

【手続補正書】

【提出日】平成21年11月5日(2009.11.5)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0079

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0079】

また、上記界面活性剤の配合量は、感放射線性樹脂組成物における酸発生基含有樹脂100質量部に対して、2質量部以下であることが好ましい。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0080

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0080】

[増感剤]

上記増感剤の好ましい例としては、例えば、カルバゾール類、ベンゾフェノン類、ローズベンガル類、アントラセン類等が挙げられる。尚、これらの増感剤は、単独で又は2種以上を混合して使用することができる。

また、上記増感剤の配合量は、感放射線性樹脂組成物における酸発生基含有樹脂100質量部に対して、50質量部以下であることが好ましい。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

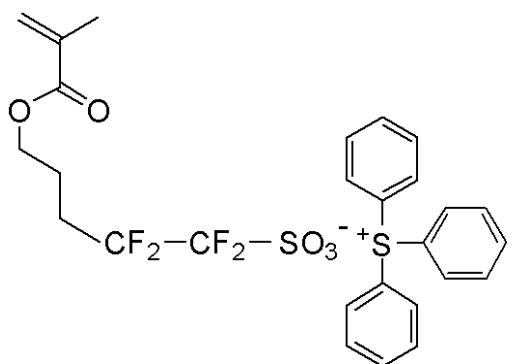
【補正対象項目名】0090

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0090】

【化39】



(Z-3)